

## 「分子生体応答研究分野セミナー」を開催

2019年7月9日

7月9日（火）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、京都大学ウイルス・再生医科学研究所 臓器関連研究チーム 准教授 河岡慎平 先生をお招きして、分子生体応答研究分野セミナーを開催しました。

セミナーでは、「エンハンサー遺伝学を活用した新規ゲノム機能の解明」という演題で、アポトーシス遺伝子の制御を介して免疫寛容の成立に貢献する新しいエンハンサーを発見された研究成果を紹介するとともに、ゲノム科学研究におけるエンハンサー遺伝学の有用性・重要性について講演していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 20 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 分子生体応答研究分野セミナー

**日時:2019年7月9日(火)16:00~17:00**

**場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)**

**演者:河岡 慎平先生**

**(京都大学 ウイルス・再生医科学研究所  
臓器関連研究チーム・准教授)**

**演題名: エンハンサー遺伝学を活用した新規ゲノム機能の解明**

河岡先生は、マルチオミクス解析ならびにタンパク質コード遺伝子・ゲノミックエンハンサーへの遺伝学を活用して、がんによる個体生理変容や免疫寛容のメカニズムに関する研究を行なっています。アポトーシス遺伝子の制御を介して免疫寛容の成立に貢献する新しいエンハンサーを最近発見されました。この研究成果を紹介していただくとともに、ゲノム科学研究におけるエンハンサー遺伝学の有用性・重要性についても議論していただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)